

反論会見150分の深層 本当にあるの?
「STAP細胞」に立ち塞がる壁

サンデー毎日

大正11年3月31日 第三種郵便物認可
2014年4月27日発行 第93巻第19号 通巻5222号
毎週火曜日発行(4月15日発売)

4.27号

定価 380円



医学部に強い高校ランキング

グラビア&特集 宝塚歌劇100年

急増!高齢者ストーカー

認知症800万人時代 どうする?「告知」

安倍政権の「テレビ局操作」

沢村 一樹

ストーカーの さとり

ストーカー対策に警察も本腰を入れ始めた（4月1日、対策本部の看板を掲げる山口県警幹部）



楽しい散歩がストーカー事件の舞台になることも？（写真と本文は関係ありません）

「高齢者ストーカー」が急増している。65歳以上によるストーカー行為の認知件数は10年前の約4倍だ。背景には、超高齢化社会の到来があるが、身体的にもアグレッシブな高齢者が増えている。一方で単独世帯が増え、寂しい老後を送る人も多く、問題は根深い。

件だった10年前の03年に比べて約4倍に達した。

年配層の被害者も増加している。昨年は60代が被害に遭ったケースが552件、70代以上は164件。60代以上の被害者は4年前と比べて1・8倍だ。

11年10月、兵庫県川西市で、当時88歳の無職男が、市内の75歳女性の自宅玄関に宅配業者を装つて入り込んで逮捕された。男は以前から女性宅に押しかけてたり電話をしつこくかけてきたことから、女性は警察に相談していた。逮捕のわたりに夫の愚痴をこぼした。「フリーのカメラマンだが、収入があまり良くないから私が援助している」

女性はその場の話題程度のつもりだったのだが、男性からこんなメールが届く

「ひどい夫と暮らしているあなたが哀れでならない」「あなたの夫はひもだ。あ

ストーカーと聞くと、若年層の問題だと思いがちだが、警察庁のまとめたデータで驚くべき実態が浮き彫りになつた。3月20日発表の2013年「被害者・加害者状況」によると、加害者の年齢が60代だったものが1396件、70代以上も523件あつたのだ。60代以上のストーカーは473

男と女性は1983年ごろから約12年間交際し、その後も友人として付き合つ

たが、06年ごろ、女性側から絶縁を求めていた。男は「交際を絶つた理由を聞きたかった。逮捕されるいわれはない」と供述したという。

ここまで行くと「元気なおじいちゃん」では片付けられない。

今年1月に出版された『ストーカー病』（光文社）の著者で、一般社団法人「男女問題解決支援センター」（東京都千代田区）代表理事の精神科医、福井裕輝氏はこんなケースを紹介する。

5年ほど前のこと。出版社に勤める30代の女性編集者が、担当していた当時60代の評論家男性と会食した時に夫の愚痴をこぼした。福井氏が指摘する。

「ストーカー規制法に抵触するレベルまで行つてしまふ人は『ストーカー病』です。相手が嫌がついていても意に介さず、妄想的思考で感情をコントロールできなくなつてゐるので、適切な治療が必要です」

事実、福井氏はそんなストーカー加害者の診察に携わっている。

実は、高齢者による犯罪 자체も右肩上がりだ。法務省がまとめた08年版『犯罪白書』によると、88~07

